

経ヶ岳道迷い(2020年1月)

山頂から下山の道を間違え別方向へ。地図アプリで確認し下山道を修正。舞岳山頂付近でスマホの電源が切れ地図が使えなくなるが何とか下山した。



解説

俺ら下山。いきなり鎖と足元の氷の続く急勾配。ヤママップ見たらずでコースアウト?佐賀太良側に降り始め。どうも頂上の降り口を間違えたらしい。遠廻りして、やっとの思いで中山越分岐まで来たら先ほどの女子高生ら家族4人と遭遇。彼女らは、予定のコース通り降りて来たが迷ったらしく、お互い📍が同じだったので一緒に舞岳経由で下山することに。のはずが舞岳がわからん。これは迷子デスネ!

俺のスマホの充電も残りわずか! 相方も同じく充電切れ&ヤママップ地図出ないと。ヘッドライト持って来てない。テープが無い! 登山道の案内ピンクテープが途切れる?舞岳行って戻って何とか下山しているがテープやロープ途切れるは無いわでワカラン! あと30分もしたら暗くなる。まだ山の中...『6人遭難』デ・ス・ネ!! 時間も無い! テープも地図もライトも無い! ガンバった相方が先導して降りて行って林道を見つけ、また登ってきた。全員無事に下山できた。ギリ助かった。(HP参照)

スマホの地図アプリに頼るのはよいが、紙地図を持って登山してほしい。コンパスで方向を確かめる技術も必要。確かな読図技術を身につけると登山自体も安全で楽しい。この事例では、日帰り登山でも必要最低限のヘッドライトやスマホの充電器も持っていなかった。

安全登山は、必要な装備を持ち、余裕を持った行動をする。それには、読図技術も必要だ。スマホの地図アプリだけに頼らず登山できたら、益々山が楽しくなると思う。